

第10次岩手県職業能力開発計画の進捗状況

資料3

職業能力開発の基本的施策		進捗状況						
1 生産性向上に向けた人材育成の強化		平成28年度実績	平成29年度実績	平成29年度実績が平成28年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
(1) IT人材育成の強化・加速化	① 人材開発支援助成金制度（H29.3.31まで「キャリア形成促進助成金」）の活用の促進【国】	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県地域ジョブ・カードセンター（盛岡商工会議所）にて、雇用型訓練に係る助成制度（キャリア形成促進助成金を含む。）について関係機関に対する助言・支援を計画 ・労働保険事業主説明会、算定基礎届事務説明会、改正育児介護休業法説明会等にて、事業主等に対し本助成金を周知・説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県地域ジョブ・カードセンター（盛岡商工会議所）にて、雇用型訓練に係る助成制度（キャリア形成促進助成金を含む。）について関係機関に対する助言・支援を計画 ・労働保険事業主説明会、算定基礎届事務説明会、改正育児介護休業法説明会等にて、事業主等に対し本助成金を周知・説明 	<p>平成29年度実績が平成28年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策</p>				
	② IT分野における離職者等再就職訓練（委託訓練）の拡充の検討【県】	<ul style="list-style-type: none"> ・情報系分野の訓練の受講者数・就職率 受講者数202名 就職率77.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報系分野の訓練の受講者数・就職率 受講者数183名 就職率82.3%（平成30年4月30日現在） 		<p>コース数、定員数ともH28とほぼ同数であったが、受講者数が減少した。ただし、就職率はH28を上回っており、訓練内容は妥当と判断されることから、受講希望者の増加に向けて求職者へのPRに注力する。</p>			
	③ IT分野における在職者訓練の拡充の検討【県、認定職業訓練団体】	<ul style="list-style-type: none"> ・情報系分野の訓練の受講者数 129名 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報系分野の訓練の受講者数 166名 					
(2) 労働者の主体的なキャリア形成の推進	① キャリアコンサルティングの計画的な実施【国】	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県地域ジョブ・カードセンターや地域ジョブ・カードサポートセンターによるキャリアコンサルティングの実施数： 90人 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩手県地域ジョブ・カードセンターや地域ジョブ・カードサポートセンターによるキャリアコンサルティングの実施数： 99人 	<p>平成29年度実績が平成28年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策</p>				
	② ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの推進【国】	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議（10/28）にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議（10/30）にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議 ・岩手大学でキャリア支援を行っているカウンセラーと新ジョブ・カード制度の運用について、勉強会を実施（12/22） 					
	③ 訓練指導員のカウンセリング研修等の実施【国】	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブ・カード講習受講によるジョブ・カード作成アドバイザーを配置 ・8/18 1名受講 ・1/19 5名受講 （平成29年4月現在、26名のジョブ・カード作成アドバイザーを配置） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョブ・カード講習受講によるジョブ・カード作成アドバイザーを配置 ・8/8 3名受講 ・12/15 5名受講 （平成30年4月現在、32名のジョブ・カード作成アドバイザーを配置） 					

(3) 企業・業界における人材育成の強化	① 認定職業訓練の効果的な活用の推進 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・長期訓練修了161名 ・短期訓練修了1,982名 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期訓練修了138名 ・短期訓練修了1,979名 	企業の人手不足のため、従業員を長期訓練へ派遣する余裕がないことにより長期訓練受講者が減少したもの。特に長期訓練について、認定職業訓練法人を通じて、受講生の確保に努める。			
	② 在職者訓練の実施 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・産業技術短期大学校本校、産業技術短期大学校水沢校（県南地区、気仙地区）、宮古高等技術専門学校、二戸高等技術専門学校（久慈地区、二戸地区）の6箇所を実施 <p>修了者数 1,810人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・産業技術短期大学校本校、産業技術短期大学校水沢校（県南地区、気仙地区）、宮古高等技術専門学校、二戸高等技術専門学校（久慈地区、二戸地区）の6箇所を実施 <p>修了者数 1,933人</p>				
	③ ニーズに即したオーダーメイドによる在職者訓練の実施 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・産業技術専攻科入校生：7名（うち企業派遣2名） ・能力開発セミナー（オーダーメイド）について、企業へ利用促進を周知中 	<ul style="list-style-type: none"> ・産業技術専攻科入校生：3名（うち企業派遣2名） ・能力開発セミナー（オーダーメイド）について、企業へ利用促進を周知中 				
	④ 職業能力開発施設の訓練指導員の企業派遣 [機構・県]	<ul style="list-style-type: none"> [県] 企業へ利用促進を周知中 [機構] 指導員派遣：26人 	<ul style="list-style-type: none"> [県] 企業へ利用促進を周知中 [機構] 指導員派遣：32人 				

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	達成度
情報系分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率	200人	202人	183人				B
	80.0%	80.0%	82.3% (平成30年4月30日現在)				A

2 「全員参加の社会の実現加速」に向けた女性・若者・中高年齢者・障がい者等の個々の特性やニーズに応じた職業能力底上げの推進	平成28年度実績	平成29年度実績	平成29年度実績が平成28年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	平成30年度	平成31年度	平成32年度
(1) 女性の活躍促進に向けた職業能力開発	① 離職者等再就職訓練における「育児等と両立しやすい短時間訓練コース」の設定及び託児サービス付き訓練コースの拡充【県】	「育児等と両立しやすい短時間訓練コース」 ・1コース 定員15名にて訓練を設定したが、応募者少数により中止 〔理由等〕 年度後半からの新規導入であったため、求職者へ制度が十分浸透していなかった。 なお、H29は、年度当初から設定しており、1コース受講者15名で実施中である。 「託児サービス付き訓練コース」 ・定員18名 受講者数5名	「育児等と両立しやすい短時間訓練コース」 ・1コース 受講者15名で実施 「託児サービス付き訓練コース」 ・定員18名 受講者数2名	「託児サービス付き訓練コース」について 〔問題点〕 ・国の制度上、訓練受託機関が用意した託児施設のみサービスの対象となり、受講者が現在利用している施設は対象とならない問題がある。 ・訓練修了後の就職活動期間はサービスの対象とならず、就職活動を行うに当たって、新たに託児施設を自ら探す必要がある。 〔対応策〕 以上のように、受講者にとって、まだ利用しやすい制度となっているとは言い難いことから、サービス対象の拡充などの制度改正について、国（厚生労働省）への要望を継続して行っていく。		
	② マザーズコーナー等での就業相談、職業あっせんの実施【ハローワーク】	・就職支援対象開始者数 1,193人 ・就職支援対象者就職件数 1,117人 ・就職支援対象者就職率 93.3%	(H30年3月末現在) ・就職支援対象開始者数 1,220人 ・就職支援対象者就職件数 1,132人 ・就職支援対象者就職率 92.8%			
	③ 母子家庭の母等への就業相談・就業支援等の実施【県】	・県保健福祉部、岩手労働局（マザーズコーナー）等と連携を図り、母子家庭の母等に対し、保健福祉部で実施する相談員による就業支援やセミナー、研修会の情報を周知するとともに、マザーズコーナーによる支援について案内した。 ・就職を希望する離職者等に対しては職業訓練について紹介した。	・県保健福祉部、岩手労働局（マザーズコーナー）等と連携を図り、母子家庭の母等に対し、保健福祉部で実施する相談員による就業支援やセミナー、研修会の情報を周知するとともに、マザーズコーナーによる支援について案内した。 ・就職を希望する離職者等に対しては職業訓練について紹介した。			
	④ 母子家庭の母等の職業的自立促進事業による委託訓練の実施【県】	・定員35名 受講者数5名 就職率100.0%	・定員18名 受講者数6名 就職率100.0%（平成30年5月11日現在）			
	⑤ 女性就業援助事業（技術講習）の実施【県】	・定員105名 受講者数59名 就職率43.1%	・定員90名 受講者数60名 就職率48.1%	介護福祉士の資格取得に繋がる介護実務者研修を新設し、受講者の確保に努めた。		

<p>(2) 若者の職業能力開発</p>	<p>① 小中学校及び高校におけるキャリア教育の取組支援【県】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的キャリア教育研修会（盛岡・中部・県南・沿岸南部・宮古教育事務所）の開催（※H28～H30の3年間悉皆により研修、H29は県北教育事務所も開催予定） ・いわてキャリア教育実践研修講座（総合教育センター）【小中各12校高13名計37名が参加×2回実施】 ・県の機関における高校生インターンシップの実施【6公所にて8校10名が実施】 ・学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業の実施（専門高校におけるキャリア教育の推進の支援）【26校34学科にて実施】 	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的キャリア教育研修会（盛岡・中部・県南・沿岸南部・宮古・県北教育事務所）の開催 ・いわてキャリア教育実践研修講座（総合教育センター）【小中各12校、高7名計31名が参加×2回実施】 ・県の機関における高校生インターンシップの実施【12公所で8校17名が実施】 ・学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業の実施（内陸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援）【15校35学科で実施】 ・県立学校復興担い手育成支援事業（就職等支援）の実施（沿岸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援）【17校30学科で実施】 ・いわて未来創造人サポート事業の実施（内陸部の普通高校等におけるキャリア教育の推進の支援）【17校17学科で実施】 				
	<p>② 大学におけるキャリア教育の取組【各大学】</p>	<p>【岩手県立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文科省の大学教育再生加速プログラム（旧産業界ニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】）インターンシップ等の拡充）での取組を継承した「東北インターンシップ推進コミュニティ」の幹事として自学のインターンシップの拡大と質を向上させるとともに、連携事業も充実させた。 ・岩手大学との共催で、「地場産業・企業研究」を開講のほか、全学のキャリア教育科目「人間と職業」や学部専門科目「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」などを開講。 ・IPU就業サポーター企業の協力により、企業見学会を実施し、学生127名が参加。（盛岡短期大学部では全員参加の事業とした。） ・IPU-Eプロジェクトを実施し、学生の就業力育成を支援。 ・キャリアガイダンスを12回実施し、学生2,186名が参加。 ・COC+事業の一環として他大学と連携しバスツアーを5回実施。 ・就業力の育成度合いを測る自己評価ツール（Eマップ、就業力自己評価シート）の運用と客観評価テスト（PROGテスト）の実施。 	<p>【岩手県立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き大学連携のインターンシップ推進組織「東北インターンシップ推進コミュニティ」を運営。インターンシップin東北をプラットフォームとした大学連携のインターンシップを実施。夏季、春季併せて172名の学生が参加。より良いプログラム作りのための企業向けセミナーや、学生の事前事後学習も充実させた。また、参加教育機関及び企業の拡大を目指し、東北経済連合会との連携も開始した。 ・岩手大学との共催で、「地場産業・企業研究」を開講のほか、全学のキャリア教育科目「人間と職業」や学部専門科目「キャリアデザインⅠ、Ⅱ」などを開講。 ・COC+事業の一環として他大学や自治体と連携してバスツアーを7回実施し、学生約40名が参加した。また、ふるさと発見大交流会を実施し、学生約400名が参加した。 ・Eプロジェクトを実施し、学生の就業力育成を支援。 ・キャリアガイダンスを19回実施し、学生2,170名が参加。 ・就業力の育成度合いを測る自己評価ツール（Eマップ、就業力自己評価シート）の運用と客観評価テスト（PROGテスト）の実施。 				

		〔岩手大学〕 ・昨年度に引き続き、東北地区連携インターンシップ（岩手県立大学が主導）を実施。連携大学内でツールを共有。 ・ジョブシャドウ（1日職場観察）を実施。のべ42名が24事業所を訪問。 ・キャリアガイダンス64回実施・学生2,794名参加、キャリアカフェ3回実施・学生221名参加。 ・市町村との共催による県内事業所バスツアーを自治体（5市）との連携により実施・学生93名参加。 ・岩手県立大学とキャリア教育科目「地場産業・企業論」を共催で開講。履修者8名。 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」等を開講。履修者141名。	〔岩手大学〕 ・昨年度に引き続き、東北地区連携インターンシップ（岩手県立大学が主導）を実施。連携大学内でツールを共有。 ・インターンシップ参加者はのべ352名。 ・キャリアガイダンス83回実施。学生3,784名参加 ・市町村との共催による県内事業所バスツアーを自治体（6市）との連携により実施。学生・教職員111名参加。 ・岩手県立大学とキャリア教育科目「地場産業・企業論」を共催で開講。履修者2名。 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」等を開講。履修者451名。				
③ 企業実習付きの日本版デュアル・システム訓練の実施 〔県〕	32コース 定員470名 受講者364名 修了者313名 就職率84.7%	27コース 定員381名 受講者279名 修了者230名 就職率87.9% (H30.4.30現在)	コース、定員及び受講者の減は、厚生労働省から配分された離職者訓練全体の定員枠の減に伴うもの。				
④ 地域若者サポートステーション事業による支援 〔国、関係市〕	・就職者数 121人 うち盛岡 67人 うち一関 54人 ・新規登録者数 176人 うち盛岡 115人 うち一関 61人	29年度より、盛岡と一関に加えて宮古にも拠点を設置し、全県域を支援対象とした。 (H30年2月末現在) ・就職者数 90人 うち盛岡 31人 うち宮古 6人 うち一関 53人 ・新規登録者数 214人 うち盛岡 114人 うち宮古 21人 うち一関 79人	・2月末現在、新登録者数は前年度を上回っている。一方、就職者数は盛岡地域が低調であったため前年度を下回った。 ・29年度の盛岡・宮古地域受託者は当事業新規参入者ながら、関係機関とのネットワークを構築し徐々に実績を伸ばしたが、前年度実績を上回るには至らなかった。 ・30年度の盛岡・宮古地域受託者は、28年度まで受託していた経験豊富な者である。引き続き関係機関と連携し、更なる事業の推進を図る。				
⑤ 学卒未就職者に対するジョブサポーターによる支援 〔国〕	(国) ジョブサポーターによる支援 (H29.3月末現在) ・配置人員 21人 ・就職者数 3,218人	(国) ジョブサポーターによる支援 (H30年3月末現在) ・配置人員 19人 ・就職者数 3,060人 (対前年度比▲4.9%) ・相談件数 9,939件 (対前年度比▲17.5%) (参考) H29年度新卒応援ハローワークの状況 ・新規求職者数（新卒及び既卒者） 1,387人 (対前年比▲8.7%)	・求職者が減少する中、就職者数、相談件数ともに減少している。引き続き、各学校と連携しながら、個別支援等、丁寧な就職支援を実施する。				
⑥ ジョブカフェにおける就業支援 〔県〕	(H29.3月末現在) ・ジョブカフェいわて利用者数 45,188人 就職決定者数 2,098人	(H30.3月末現在) ・ジョブカフェいわて利用者数 54,701人 就職決定者数 2,052人					
⑦ 就業支援員による就業支援 〔県〕	(H29.3月末現在) ・学校訪問件数 2,354件 ・事業所訪問件数 2,550件	(H30.3月末現在) ・学校訪問件数 2,503件 ・事業所訪問件数 3,206件					

(3) 中高年齢者の職業能力開発	① シニアワークプログラム地域事業の推進【労働局】 (29年度～「高齢者スキルアップ就職促進事業」)	・目標 280名 ・修了者数 278名 ・目標達成率 99.3%	(H30年3月末現在) ・目標 230名 ・修了者数 208名 ・目標達成率 90.4%	・求職者の減少により目標達成には至らなかったが、達成率は全国平均を大幅に上回った。(3月末現在/全国73.2%)引き続き、積極的な事業周知・広報に努める。			
(4) 障がい者の職業能力開発	① 障がい者の態様に応じた委託訓練の実施【県】	・定員39名 受講者数32名 就職率69.0%	受講者数 27名 就職率 54.2%	有効求人倍率が1倍を超える状況にあり、訓練を経ずに就職する求職者が多かった。			
	② 関係機関との連携の強化【県、ハローワーク、関係団体】	平成25～27年度に実施したジョブコーチ養成研修を修了した者等に対するフォローアップ研修を4回実施 研修参加者 61名	研修参加者 45人	フォローアップ研修4回実施のほか、平成29年度は平成30年4月からの障がい者の法定雇用率引き上げに対応するため、新規事業により就労支援機関職員のスキルアップを図るための研修を行い拡充している。 (当該スキルアップ研修の参加者人数は左記実績に計上していない。3日間延べ132人参加(うち延べ24人は当該H25-27ジョブコーチ養成研修修了者)			
	③ 岩手県障がい者技能競技大会の開催【県、機構】	7月10日(日)開催 8種目(1種目デモンストレーション) 参加選手39名	7月9日(日)開催 8種目 参加選手43名				
(5) 非正規雇用労働者の職業能力開発	① 岩手県地域職業訓練実施計画に基づく求職者支援訓練の実施【労働局】	第1回岩手県地域訓練協議会(10/28) ・平成27・28年度公的職業訓練(求職者支援訓練含む。)に係る状況説明 ・平成29年度岩手県地域職業訓練実施計画の策定方針について承認 第2回岩手県地域訓練協議会(2/27) ・平成29年度岩手県地域職業訓練実施計画について承認	第1回岩手県地域訓練協議会(10/30) ・平成28・29年度公的職業訓練(求職者支援訓練含む。)に係る状況説明 ・平成30年度岩手県地域職業訓練実施計画の策定方針について承認 第2回岩手県地域訓練協議会(2/20) ・平成30年度岩手県地域職業訓練実施計画について承認				
	② 求職者支援訓練実施機関の開拓、申請の認定、訓練の指導【機構】	訓練計画定員1,120人 ・実施定員1,010人(73コース)を認定	訓練計画定員860人 ・実施定員913人(67コース)を認定	厚生労働省から提示された上限値が下がったため、認定数は減っているが、計画定員は大きく上回った。			
	③ 一貫した個別の就職支援【ハローワーク】	・受講希望者の適性・能力に合った適切な訓練コースの選択や早期就職のための助言・援助のため職業相談やキャリアコンサルティングを実施した。 ・訓練受講者には、個別に支援計画を作成し、訓練期間中及び訓練修了後に定期的に指定来所日を設け、個々の実情に応じた支援を実施した。また、必要に応じて担当者制による就職支援を実施し、応募の際のジョブ・カードの利用の仕方についても適宜指導した。	・受講希望者の適性・能力に合った適切な訓練コースの選択や早期就職のための助言・援助のため職業相談やキャリアコンサルティングを実施した。 ・訓練受講者には、個別に支援計画を作成し、訓練期間中及び訓練修了後に定期的に指定来所日を設け、個々の実情に応じた支援を実施した。また、必要に応じて担当者制による就職支援を実施し、応募の際のジョブ・カードの利用の仕方についても適宜指導した。				

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	達成度
離職者等を対象とした職業訓練における女性の受講者数	1,100人	1,010人	895人				B
障がい者委託訓練受講者数	37人	32人	27人				C
離職者等再就職訓練等の就職率（県委託訓練分）	75.0%	78.3% (平成30年4月30日現在)	79.4% (平成30年4月30日現在)				A

3 産業界のニーズや地域の創意工夫を活かした人材育成の推進		平成28年度実績	平成29年度実績	平成29年度実績が平成28年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	平成30年度	平成31年度	平成32年度
(1) 被災地域の産業の復興の完遂とその先の更なる展開に向けた職業訓練の実施	① 建設機械オペレーター養成等建設関連分野の職業訓練の実施 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・車両系建設機械等の操作技能習得(特別訓練コース)：宮古、釜石、盛岡、二戸、久慈、一関 6地区 8コース 98名受講 ・宅建スキル養成科：盛岡地区 1コース 20名受講 	<ul style="list-style-type: none"> ・建設人材育成コース：盛岡、宮古、釜石、二戸 4地区 4コース 46名受講 ・宅建スキル養成科：盛岡地区 1コース 20名受講 	震災復興のための「特別訓練コース」がH28で終了したことに伴い訓練受託機関への委託料単価が減額となった影響で実施コース数が減少したものの。建設分野を希望する求職者は減少しているが、求職者へのPR等により、実施コース数の確保に努める。			
	② 岩手職業能力開発促進センターにおける離職者訓練の実施 [機構]	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野実習場で「住宅建築施工科」を6、9、12、3月に開講 各回定員15名、延定員60名 ・花巻実習場で「建築CAD施工科」を4、7、10、1月に開講 各回定員15名、延定員60名 合計 延定員120名 	<ul style="list-style-type: none"> ・遠野実習場で「住宅建築施工科」を6、9、12、3月に開講 各回定員15名、延定員60名 ・花巻実習場で「建築CAD施工科」を4、7、10、1月に開講 各回定員15名、延定員60名 合計 延定員120名 				
(2) ものづくり分野の人材育成	① 地域ものづくりネットワークと連携した人材育成 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 5名 ・工業高校教員を対象とした研修の実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能検定講習会を実施 (資格取得者：529名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 5名 ・工業高校教員を対象とした研修の実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能検定講習会を実施 (資格取得者：521名) 				
	② 県立職業能力開発施設の運営の適時適切な見直し [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・再編整備検討委員会：6月 ・再編整備の方向性の決定：2月 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編整備検討委員会：1月 				
(3) 需要や成長が見込まれる分野の人材育成	① 医療・福祉分野、IT関連分野、介護分野及び観光分野における離職者等再就職訓練（委託訓練）の実施 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉分野、IT関連分野、介護分野及び観光分野の訓練の受講者数・就職率 受講者429名 修了者399名 就職率83.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉分野、IT関連分野、介護分野及び観光分野の訓練の受講者数・就職率 受講者426名 修了者241名 就職率81.3% (H30.4.11現在) 				

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	達成度
需要が見込まれる分野（介護系、情報系及び観光分野）の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率	460人	429人	380人				B
	80.0%	81.2%	84.0%				A

4 人材の最適配置を実現するための労働市場インフラの戦略的展開	平成28年度実績	平成29年度実績	平成29年度実績が平成28年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	平成30年度	平成31年度	平成32年度
(1) 中長期の人材ニーズを踏まえた育成戦略及び産業界や地域のニーズを踏まえた公的職業訓練の実施	① 求職者支援訓練の実施【労働局】 訓練計画定員1,120人 ・実施定員1,010人（73コース）を認定	・訓練計画定員860人 ・実施定員913人（67コース）を認定（認定率106.2%） ・受講者数456人	・定員率は減少（厚労省より示達）したが、前年度の受講実績以上の定員率は確保した。一方、認定率は初めて100%を超えた。 ・応募者の確保が課題である。積極的な周知・広報を実施するとともに、関係機関と連携し訓練説明会や訓練施設見学会を各地域で実施する。			
② 「民間教育訓練機関における職業訓練サービスガイドライン」の普及促進	・求職者支援訓練実施機関へのメール、HPによる受講勧奨 ・職業訓練サービスガイドライン研修を1回開催 受講者 7人 ・当該研修の修了を求職者支援訓練認定申請の選定の加点要素に追加 ・委託訓練受託予定事業者を対象とした説明会において周知 ・委託訓練受託事業者選定に当たって、上記研修を受講した職員がいる事業者に対する加点要素とする。	・求職者支援訓練実施機関へのメール、HPによる受講勧奨 ・職業訓練サービスガイドライン研修を1回開催 受講者 29人 ・当該研修の修了を求職者支援訓練認定申請の選定の加点要素に追加 ・委託訓練受託予定事業者を対象とした説明会において周知 ・委託訓練受託事業者選定に当たって、上記研修を受講した職員がいる事業者に対する加点要素とする。	【参考】 平成29年度までで機構が行うサービスガイドライン研修が終わることと、東北ブロックでは、最後の日程での開催となったため、近県からの参加者もあり、受講者が増えた。			
③ 離職者等再就職訓練（委託訓練）の訓練推進体制の継続【県】	・産業技術短期大学校、同水沢校、宮古高等技術専門学校及び二戸高等技術専門学校による4広域で実施した。	・産業技術短期大学校、同水沢校、宮古高等技術専門学校及び二戸高等技術専門学校による4広域で実施した。				
④ ポリテクセンター岩手における離職者訓練（施設内訓練）の実施【機構】	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H28定員数 延437名	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H29定員数 延452名				

(2) 技能検定及び職業能力評価制度の普及	① 技能検定制度の普及、受検勸奨【県、職業能力開発協会】	・合格者数1,154名（うち高校生321名）	・合格者数1,221名（うち高校生421名）				
	② 職業能力評価基準の整備等及び普及・活用促進【国】	・職業能力評価基準の整備状況：54業種	・職業能力評価基準の整備状況：59業種				
	③ 岩手県技能評価認定制度の普及【県】	いわて機械時計士技能評価 ・受検者33名、合格者9名 いわて遠野かやぶき士技能評価 ・未実施（受験該当者がいない為）	いわて機械時計士技能評価 ・受検者30名、合格者6名 いわて遠野かやぶき士技能評価 ・未実施（受験該当者がいない為）				
	④ ジュニアマイスター顕彰制度の普及【(公社)全国工業高等学校長協会】	・認定者数 285名 ・認定内容 ゴールド 90名 シルバー 195名	・認定者数 361名 ・認定内容 ゴールド 178名 シルバー 183名				
(3) ジョブ・カード制度の活用促進	① ジョブ・カード制度岩手県地域推進計画（平成27年10月2日改訂）に基づいた中期的ジョブ・カード制度の効果的な普及【労働局】	第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(10/28)にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議	第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(10/30)にて、新ジョブ・カード制度に係る岩手県地域推進計画について協議				
(4) 企業における人材育成投資の促進	① 認定職業訓練の効果的な活用の推進【県】【再掲】	・長期訓練修了161名 ・短期訓練修了1,982名	・長期訓練修了138名 ・短期訓練修了1,979名	企業の人手不足のため、従業員を長期訓練へ派遣する余裕がないことにより長期訓練受講者が減少したと思われる。短期訓練については昨年度とほぼ同数となった。			
(5) 関係機関の連携による職業訓練の推進	① 岩手県地域ジョブ・カード運営本部における効果的な周知・啓発のあり方の検討及び関係機関を通じた積極的な周知【労働局】	・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(10/28)	・第1回岩手県地域ジョブ・カード運営本部会議(10/30)				
	② 岩手県地域訓練協議会による推進体制の強化【労働局】	第1回岩手県地域訓練協議会(10/28) 第2回岩手県地域訓練協議会(2/27)	第1回岩手県地域訓練協議会(10/30) 第2回岩手県地域訓練協議会(2/20)				

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	達成度
在職者訓練の修了者数（県実施分）	2,300人	1,810人	1,933人				B
技能検定受検者数	2,000人	2,034人	2,099人				A
技能検定受検合格者数（延べ数） （年間合格者数）	累計値：60,917人 目標値（1,236人/年）	55,891人 （1,154人）	57,112人 （1,221人）				— (B)

5 技能の振興		平成28年度実績	平成29年度実績	平成29年度実績が平成28年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	平成30年度	平成31年度	平成32年度
(1) 技能の継承・発展	① 技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会への参加促進【県、職業能力開発協会】	<ul style="list-style-type: none"> 技能五輪全国大会 10月21日～24日（山形県） 12職種33名が出場 9職種15名が入賞 若年者ものづくり競技大会 8月7日～9日（栃木、沖縄県） 9職種16名が出場 6種目9名が入賞 	<ul style="list-style-type: none"> 技能五輪全国大会 11月24日～27日（栃木県） 14職種32名が出場 7職種13名が入賞 若年者ものづくり競技大会 8月3日～4日（愛知県） 9職種24名が出場 ※過去最多出場 5種目10名が入賞 				
(2) 技能尊重 気運の醸成	① 岩手県卓越技能者表彰の実施【県】	<ul style="list-style-type: none"> 卓越技能者9名 青年卓越技能者8名 	<ul style="list-style-type: none"> 卓越技能者9名 青年卓越技能者10名 				

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	達成度
技能五輪全国大会の出場者数、入賞率	37人	33人	32人				B
	18.0%	45.5%	40.6%				A

6 職業訓練のインフラの充実		平成28年度	平成29年度実績	平成29年度実績が平成28年度に比べて低調だった場合等の原因及び改善策	平成30年度	平成31年度	平成32年度
(1) 県立職業能力開発施設	① 学科・定員の必要に応じた見直しの検討【県】	<ul style="list-style-type: none"> 学科構成：変更なし 定員：変更なし 再編整備検討委員会：6月（短期的な方向性は現状維持であるが、中長期的な方向性は社会情勢の変化や産業界のニーズ等に対応できるよう、毎年検討を続けていく。） 	<ul style="list-style-type: none"> 学科構成：変更なし 定員：変更なし 再編整備検討委員会：1月（短期的な方向性は現状維持であるが、中長期的な方向性は社会情勢の変化や産業界のニーズ等に対応できるよう、毎年検討を続けていく。） 				
	② カリキュラムの充実【県】	<ul style="list-style-type: none"> 再編整備検討委員会で方向性を検討 カリキュラム：大きな改正なし（シラバスは年1回見直し、修正している。） 	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラム：大きな改正なし（シラバスは年1回見直し、修正している。） 				
	③ 在職者訓練の充実【県】	<ul style="list-style-type: none"> 二戸地区における在職者訓練の開始 	<ul style="list-style-type: none"> 二戸地区における在職者訓練の継続及び普及 				

(2) 国の職業能力開発施設	① ものづくり分野の人材育成のための訓練の実施 【機構】	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H28定員数 延437名	・電気設備技術科 60名定員 ・生産設備科 32名定員 ・金属加工科 60名定員 等 H29定員数 延452名				
(3) 職業訓練法人等	① 認定職業訓練運営費補助による支援 [国、県]	・運営費補助 14団体 ・設備（訓練機器）整備費補助 4団体	・運営費補助 14団体 ・設備（訓練機器）整備費補助 4団体				

目標達成度：A－100%以上、B－80%以上100%未満、C－80%未満

【目標】項目	H32年度 (計画目標)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	達成度
県立職業能力開発施設における県内企業への就職率	67.0%	63.4% (84.3%)	61.9% (82.3%)				B

※（ ）内は、県内に事業所があり、配属先を県内事業所としている企業へ就職した場合の就職率を参考数値として記載したもの。